

「国家標準化發展綱要」（いわゆる「中国標準 2035」）が公表

2021年10月13日

JETRO 香港事務所

2021年10月10日、中国共産党中央委員会と中国国務院は、「**国家標準化發展綱要**」（以下「本綱要」という）を公表した。本綱要は、2035年という長期目標に向けた標準化政策を定めたものであり、いわゆる「中国標準 2035」として制定作業が進められていたものである。本稿では、対象分野及び知的財産との関係を中心に紹介する。（以下、下線は強調）

### 1. 本綱要策定の経緯

中国における標準化政策の課題認識について、2015年に中国国務院から発表された「深化標準化工作改革方案<sup>1</sup>」では、「中国が策定した国際標準は、国際標準全体の0.5%に過ぎず、『中国標準』は国際的に認知されていない。」ことを課題とした上で、国際標準への影響力を高めることが目標とされた。

その後、2018年1月、国家標準化管理委員会から国家レベルの標準化戦略である「中国標準 2035」の策定作業が進められていることが明らかにされた<sup>2</sup>。そして、2020年3月に国家標準化管理委員会から公表された「2020年全国標準化工作要点<sup>3</sup>」には、「中国標準 2035」研究プロジェクトの内容を反映した「国家標準化戰略綱要」を編纂することとされた。

2021年3月の「国民經濟・社会發展第十四次五か年計画及び2035年までの長期目標綱要<sup>4</sup>」では、本綱要制定に関する直接の言及はされなかったが、「国内・国際双循環」を取り扱った第十三章において、中国製品・サービス・技術・ブランドと並んで「標準」の「走出去」、つまり、中国標準の国際標準化を推し進めていくことが示された。これらを背景として、この10月に本綱要の策定に至った。

<sup>1</sup> 国务院关于印发深化标准化工作改革方案的通知 2015年3月11日 中国政府網  
[http://www.gov.cn/zhengce/content/2015-03/26/content\\_9557.htm](http://www.gov.cn/zhengce/content/2015-03/26/content_9557.htm)

<sup>2</sup> 《中国标准 2035》将发布 2018年1月11日 中国政府網  
[http://www.gov.cn/xinwen/2018-01/11/content\\_5255443.htm](http://www.gov.cn/xinwen/2018-01/11/content_5255443.htm)

<sup>3</sup> 国家标准化管理委员会关于印发《2020年全国标准化工作要点》的通知 2020年3月24日  
[http://www.gov.cn/zhengce/zhengceku/2020-03/24/content\\_5494968.htm](http://www.gov.cn/zhengce/zhengceku/2020-03/24/content_5494968.htm)

<sup>4</sup> 中华人民共和国国民经济和社会发展第十四个五年规划和2035年远景目标纲要 2021年3月13日 中国政府網  
[http://www.gov.cn/xinwen/2021-03/13/content\\_5592681.htm](http://www.gov.cn/xinwen/2021-03/13/content_5592681.htm)

## 2. 本綱要の概要

### (1) 目標

まず全体的な方向性として、標準化ガバナンス構造の最適化や効率向上、標準の国際化レベルの向上、質の高い発展を促進する標準化体系の速やかな構築などを提示。

2025年までの中期目標として、政府主導から政府・市場主導への転換、標準化の産業・貿易分野から経済社会全体（農業、サービスなど）への拡大、量・規模から質・効率への転換、国際標準化への協力促進などを提示し、数値目標として国家標準策定サイクルの18ヶ月以下への短縮、国家標準と国際標準の一致性を85%以上とすることなどが示された。

2035年までの長期目標には、国際的に互換性があり、政府と市場が共に主導する中国の特色ある標準化管理体系を構築することを掲げた。

### (2) 対象分野

#### ・標準化と科技イノベーションの相互発展

AI、量子情報、バイオ分野の標準化研究、次世代IT、ビッグデータ、ブロックチェーン、ヘルスケア、新エネルギー、新素材分野における技術開発と標準化の同時展開、船舶、高速鉄道、新エネ自動車、スマート・コネクティッドカー、ロボット分野における標準化・産業変革推進、バイオ医学研究、分子育種、無人運転分野における安全関連標準の策定・改善など

#### ・産業標準化レベルの向上

基礎部品・技術・材料、スマート製造など製造分野、サービス、食品コールドチェーン、物流、EC、卸・小売、不動産、金融分野などにおける標準の改善やそれによるデジタル化促進、データ財産権やセキュリティ、プラットフォーム・エコノミーやシェアリング・エコノミーなど新興産業における標準化推進、通信や産業用インターネット等のインフラ標準の確立など

#### ・グリーン発展における標準化保障の改善

CO<sub>2</sub>排出ピークアウト及びカーボン・ニュートラルに関連した省エネ、再エネ、CO<sub>2</sub>排出基準や回収・利用・貯蔵などの標準の確立・改善、生態系保護や気候変動、自然資源、グリーン農業やグリーンファイナンス、エコツーリズム、グリーン建設、グリーン消費等の標準化推進など

## ・都市と農村・社会建設に関する標準化加速

スマート農業など農村活性化、スマートシティなど都市化、行政サービスや信用情報の収集・使用、データセキュリティと個人情報保護など行政管理・社会ガバナンス、公共安全関連、教育や高齢者支援など公共サービス、スポーツやメディアなど生活・健康関連の標準化推進など

### (3) 国際標準との関係

国際標準化機関 (ISO)・国際的な専門標準化団体への積極参加や「一帯一路」、BRICS、APEC、その他各国との標準化分野での連携、標準国際化プロジェクト実施などによる国際標準策定への関与と中国標準・国際標準の互換性促進を進めていくことが示された。

### (4) 知的財産政策との関係

本綱要では、上記「標準化と科技イノベーションの相互発展」の項目において、「標準必須特許制度を改善し、標準制定プロセスにおける知財保護を強化し、イノベーション成果の産業応用を促進する」ことに言及されている。また、「産業標準化レベルの向上」の項目では、「データ資源の財産権についての標準確立」が示された。

また、本綱要の公表に先立つ 2021 年 9 月 22 日には、同じく中国共産党中央委員会と中国国務院から公表された 2035 年までの長期政策として、「知識産権強国建設綱要 (2021~2035) <sup>5</sup>」が策定された。こちらには、「専利と国際標準の制定との効果的な結合を推進する」旨言及されている。これら二つの綱要が相次いで公表されたことは、知財政策と標準化政策を経済・イノベーション政策の両輪として推し進めようとする意図がうかがえる。

(以上)

文責：JETRO 香港 松本要

---

<sup>5</sup> 中共中央 国務院印发《知识产权强国建设纲要 (2021—2035 年)》2021 年 9 月 22 日 中国政府網  
[http://www.gov.cn/zhengce/2021-09/22/content\\_5638714.htm](http://www.gov.cn/zhengce/2021-09/22/content_5638714.htm)